

「情報処理学会論文誌：数理モデル化と応用」の 編集にあたって

棟朝 雅晴^{1,a)}

論文誌トランザクション「数理モデル化と応用 (TOM)」では、数理モデル化と問題解決 (MPS) 研究会においてご講演をいただき、その場での議論もふまえて、研究会と同時開催の編集委員会で審議のうえ、査読結果をお伝えしています。

2019年9月に第125回研究会を札幌市内で開催し、12月に第126回研究会を電気通信大学で開催いたしました。第127回研究会についてはコロナウイルスの感染拡大とともない、オンラインでの開催となりました。今年6月、9月に開催の研究会についても、オンラインでの開催となりますが、その特性も生かしつつ活発な議論をさせていただければと存じますので、引き続き多数のご参加ならびにご投稿をお待ちしています。

今号では、2020年5月までに採録と判定されたオリジナル論文3編を収録しています。担当編集委員は、但馬康宏、瀬尾茂人、加藤 毅、田原康之、西野哲朗、庄野 逸、渡邊真也、北上 始、高田雅美、棟朝雅晴（敬称略）となっています。

TOMに掲載される論文はコンピュータサイエンスの境界領域を含む非常に広範囲なものになっています。そのため広い分野に対応できるように多くの編集委員を必要としています。これまで慢性的に編集委員が不足している状態です。TOMでは編集委員を常時募集していますので、自薦・他薦を問わず興味のある方はぜひご一報ください。

本論文誌の配布はオンライン版のみとなっています。なお、論文誌の定期購読制度もありますので、ぜひ、こちらもご利用ください。また、研究会開催記録、研究会登録案内、投稿案内などに関する最新の情報はすべてWWWページ上に掲載しております。すべての情報は研究会ウェブページ (<http://www.ipsj.or.jp/sig/mps>) よりたどることができますので、MPS研究会および論文誌TOMに関しては、そちらをご参照くださいますよう、お願い申し上げます。

¹ 北海道大学
Hokkaido University, Sapporo, Hokkaido 060-0811, Japan

^{a)} munetomo@iic.hokudai.ac.jp